

「ライフデザイン支援」に関する調査結果

【第 1 回アンケート】

芦屋市では、市民の皆さまが自分らしい人生を描き、実現できるまちづくりを目指し、ライフデザイン（将来の人生設計）支援の実施を検討しています。

ライフデザインとは、仕事・暮らし・健康・学び・結婚・子育てなど、人生のさまざまな要素について、自分なりの将来像を考えることです。

本アンケートでは、市民の皆さまの暮らしの満足度や将来への意識、行政に求める支援についてお伺いし、今後の施策の基礎資料とさせていただきます。

ご回答いただいたモニターの皆様、ご協力ありがとうございました。

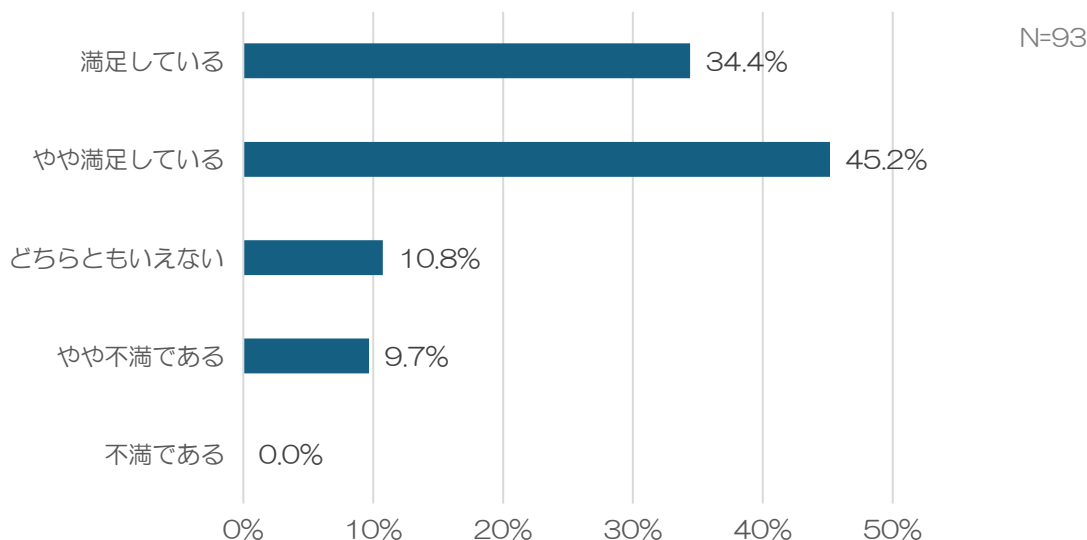
- 調査期間 令和 8 年 7 月 17 日から 7 月 30 日まで
- 設問数 15 問
- 有効回答率 93.9%（対象者数 99 人 有効回答者数 93 人）
- 有効回答者の構成割合 男性：49.5%、女性：50.5%
（18～20 歳代 18.2%、30 歳代 21.5%、40 歳代 19.4%、50 歳代 19.4%、60 歳代以上 21.5%）

※図表中の N 値は、分類別回答者数を表します。

※複数回答の設問（MA）は、回答比率が 100%を超えます。

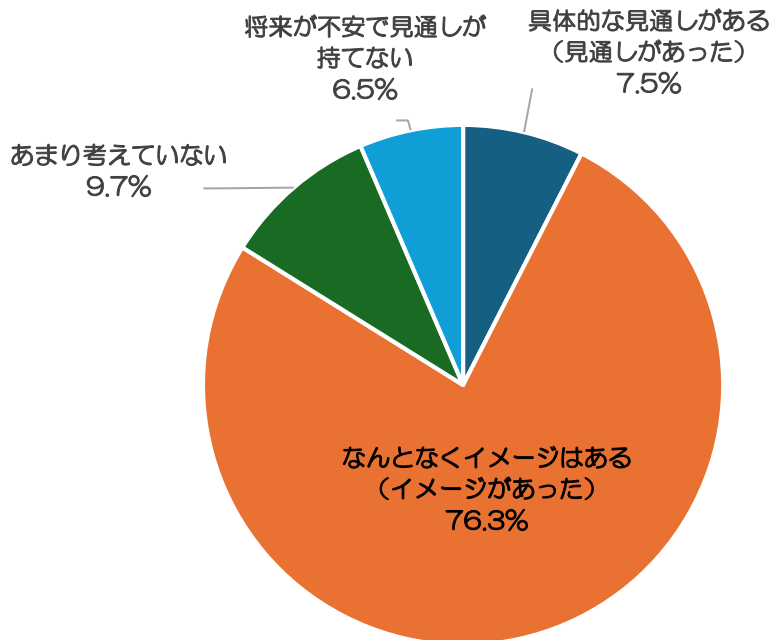
【アンケート結果】

問 1 現在の生活にどの程度満足していますか。



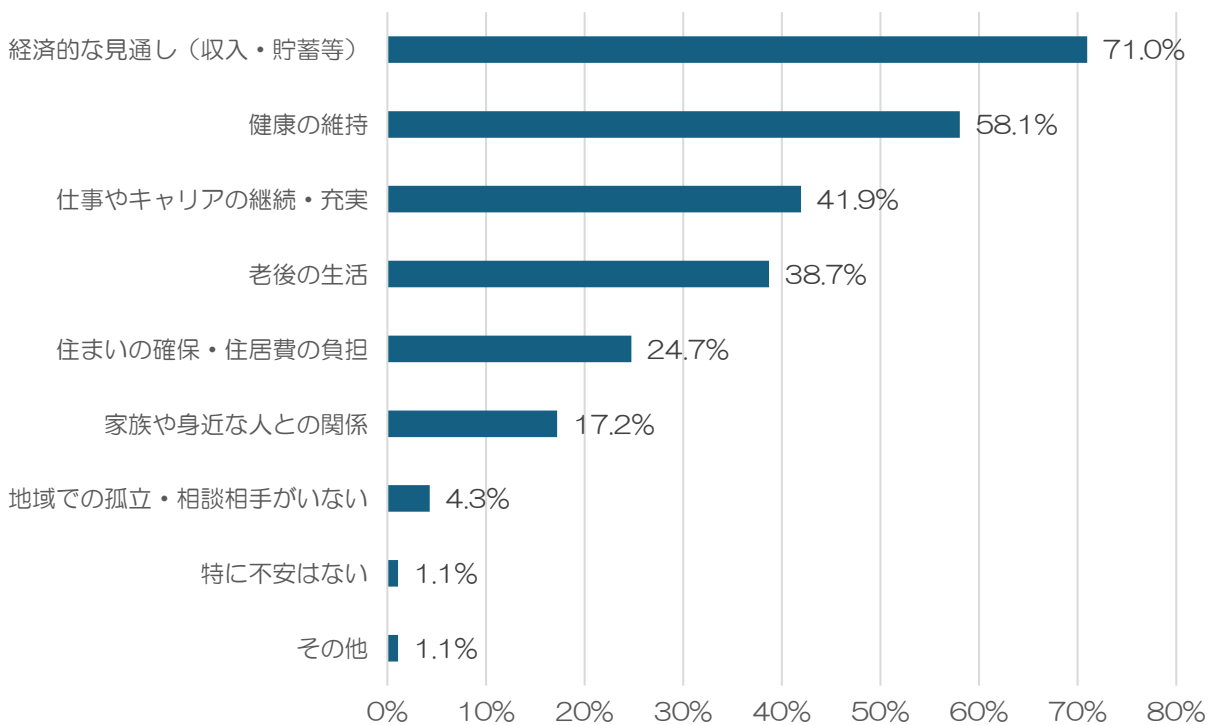
問2 自分の将来について、どの程度見通しを持っていますか。(持っていましたか)

N=93



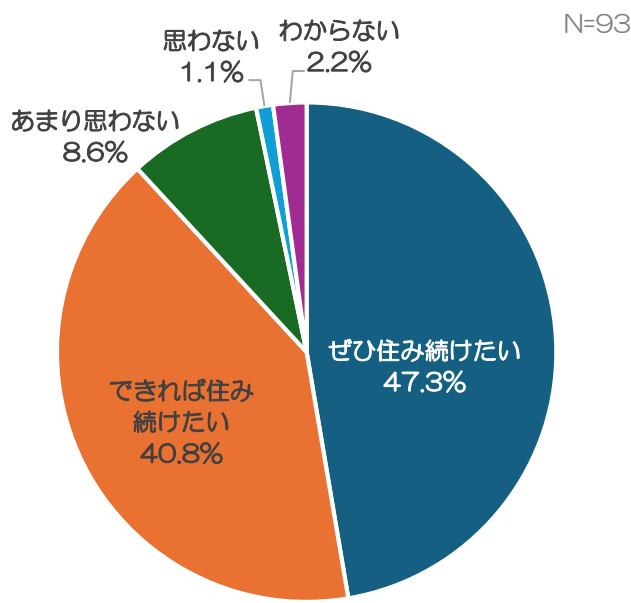
問3 将来の生活について不安に感じることは何ですか。(3つまで) (MA)

N=93

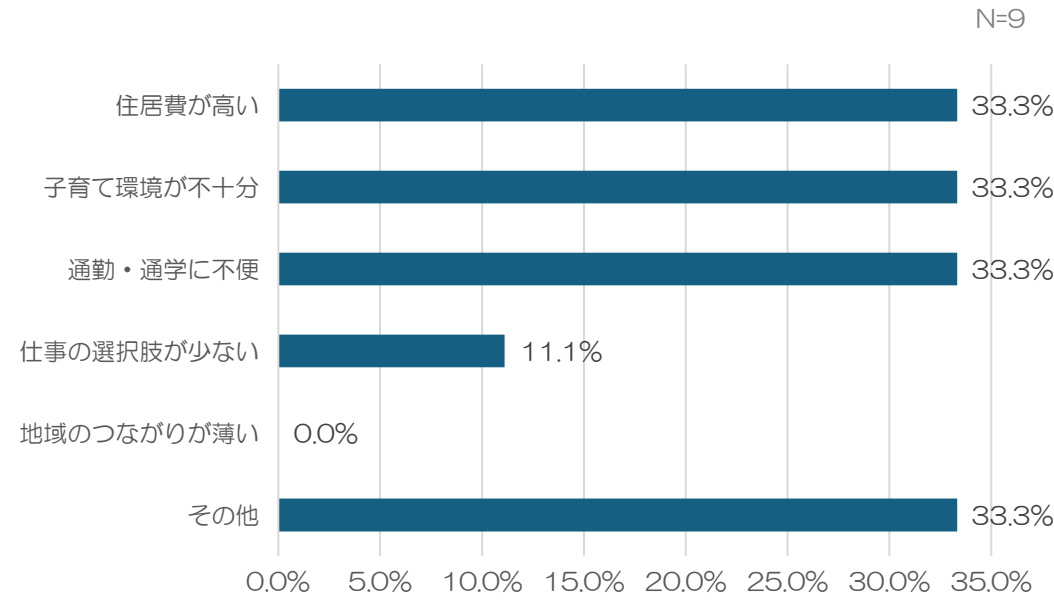


年代	その他
20代	子育ての環境 (治安、保育施設等)

問 4 今後も芦屋市に住み続けたいと思いますか。

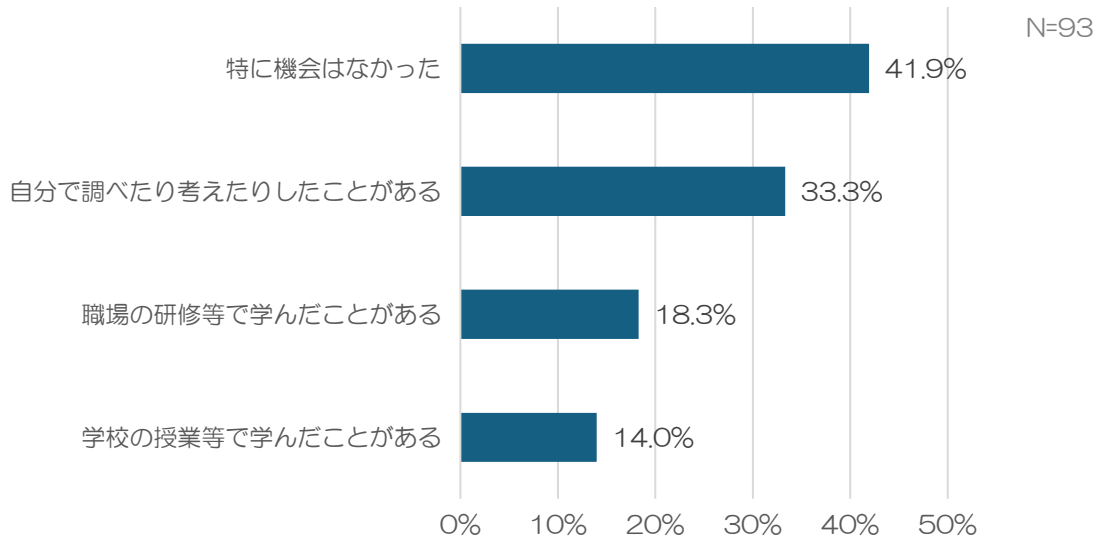


問 4-1 問 4 で【「あまり思わない」「思わない」と回答した方】その理由は何ですか。
(MA)

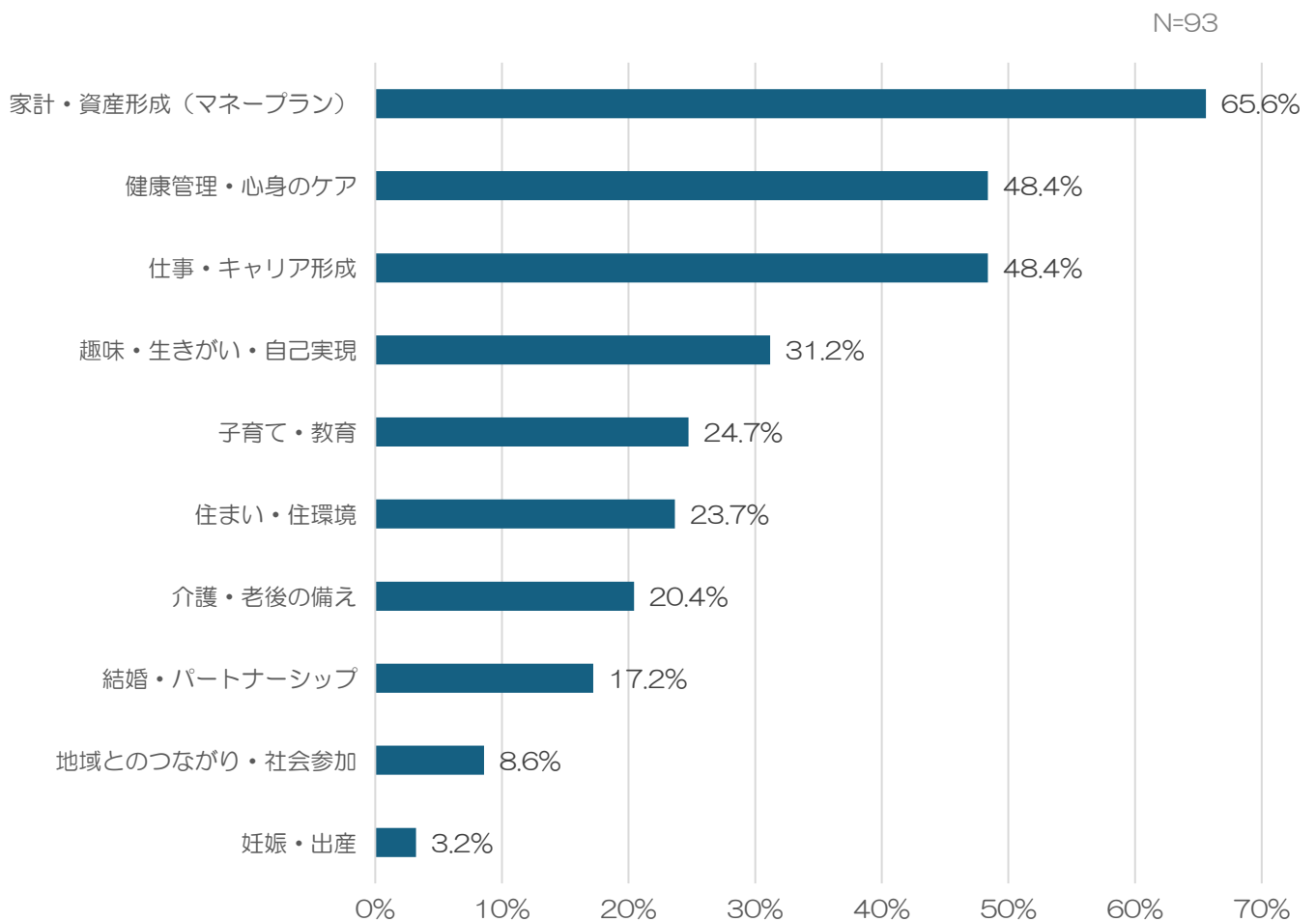


年代	その他
40 代	特にこだわる理由がないから。
50 代	安いスーパーがない。飲食店も少ない。
50 代	病気になり、できるだけ知り合いのいないところに引っ越したいと思っているから。

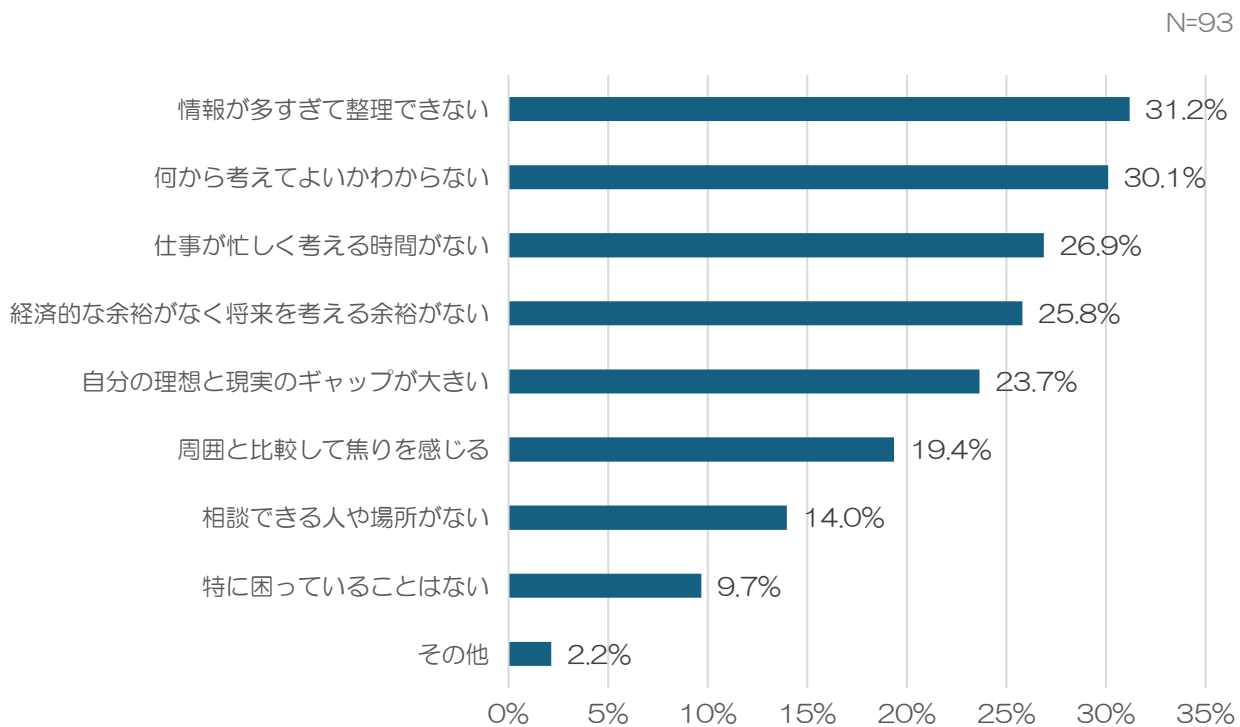
問5 これまでにライフデザインについて学んだり、考えたりする機会がありましたか。
(MA)



問6 ライフデザインを考える上で、特に重要だと思うテーマは何ですか。(3つまで)
(MA)

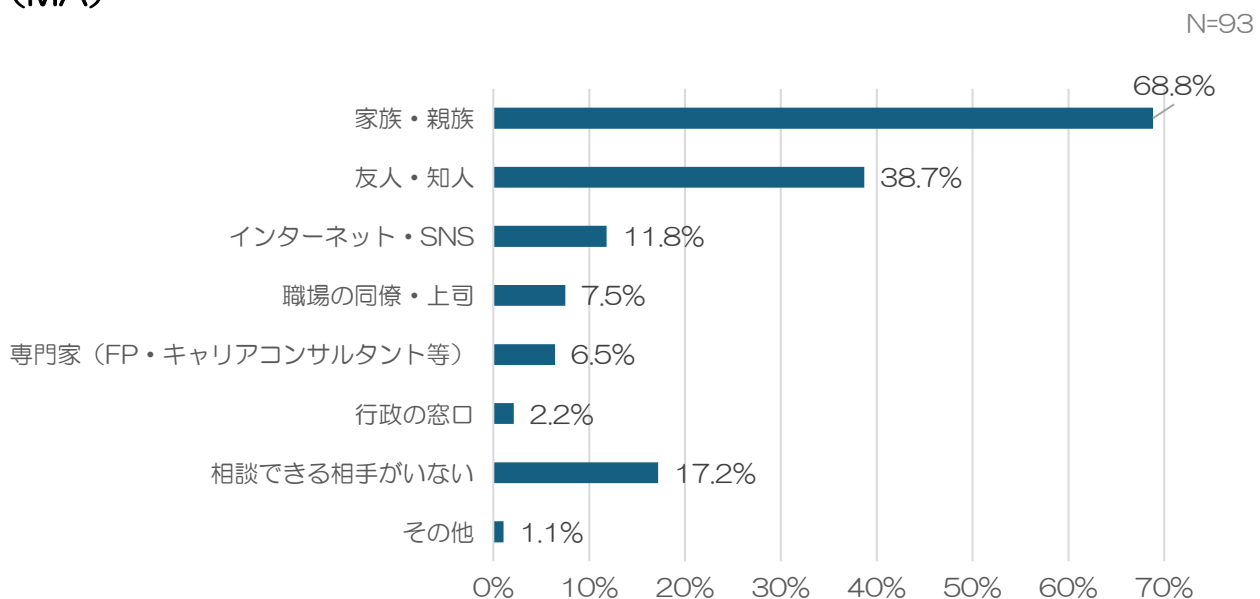


問7 ライフデザインを考える際に、困っている（困った）ことや障壁に感じることは何ですか。（3つまで）（MA）



年代	その他
20代	データが少ないと感じる。生活様式が多様多様なため、自身が理想とする生活のシュミレーションが行えない。
40代	内閣や県知事に問題がありすぎて日本の将来が不安。

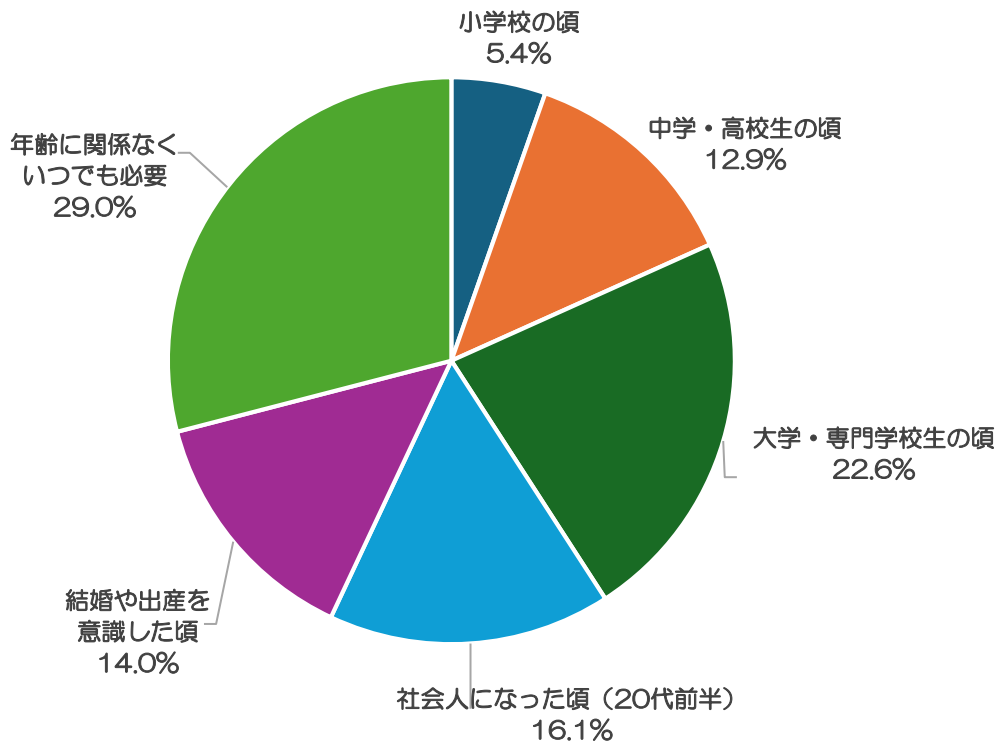
問8 ライフデザインについて、身近に相談できる相手はいますか（いましたか）。（MA）



年代	その他
40代	ChatGPT

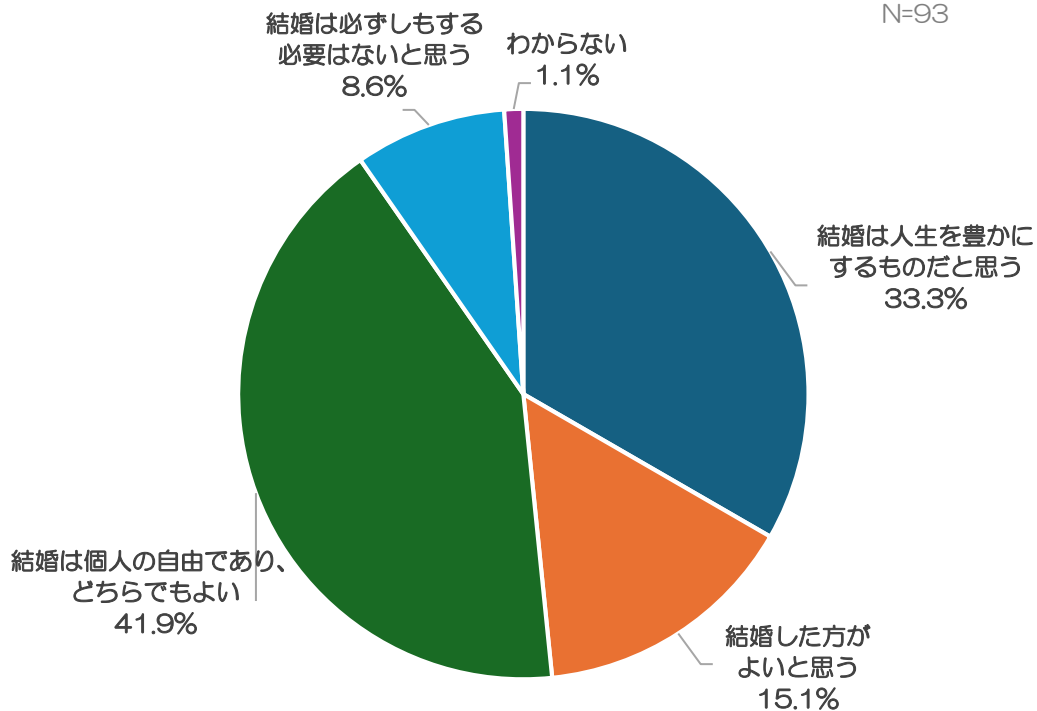
問9 ライフデザインについて考えるきっかけとして、最も適切な時期はいつだと思いますか。

N=93

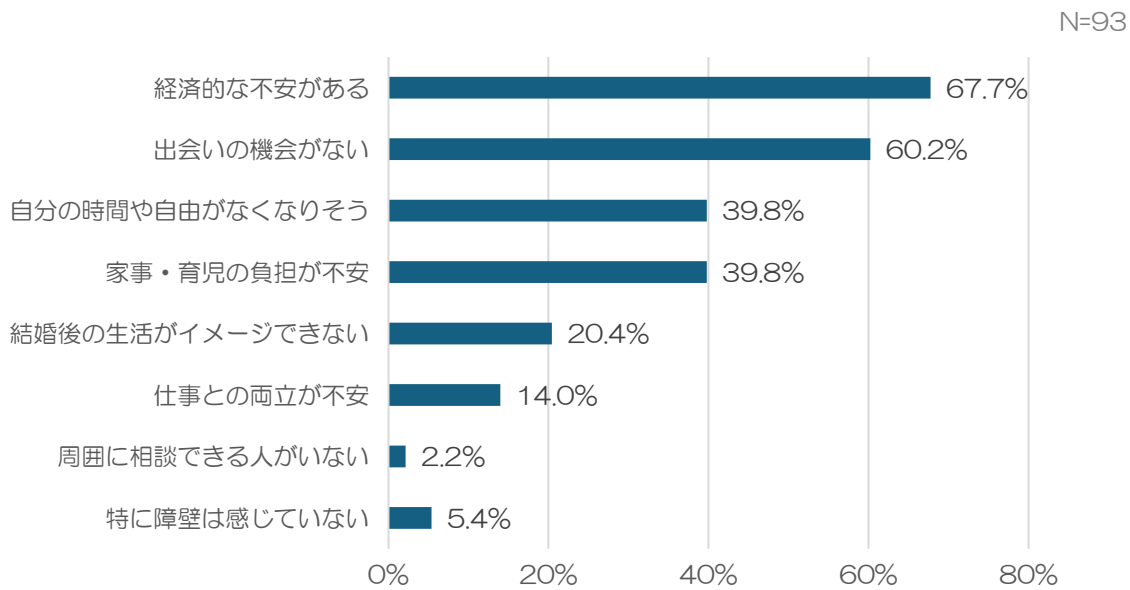


問10 「結婚」についてどのようにお考えですか。

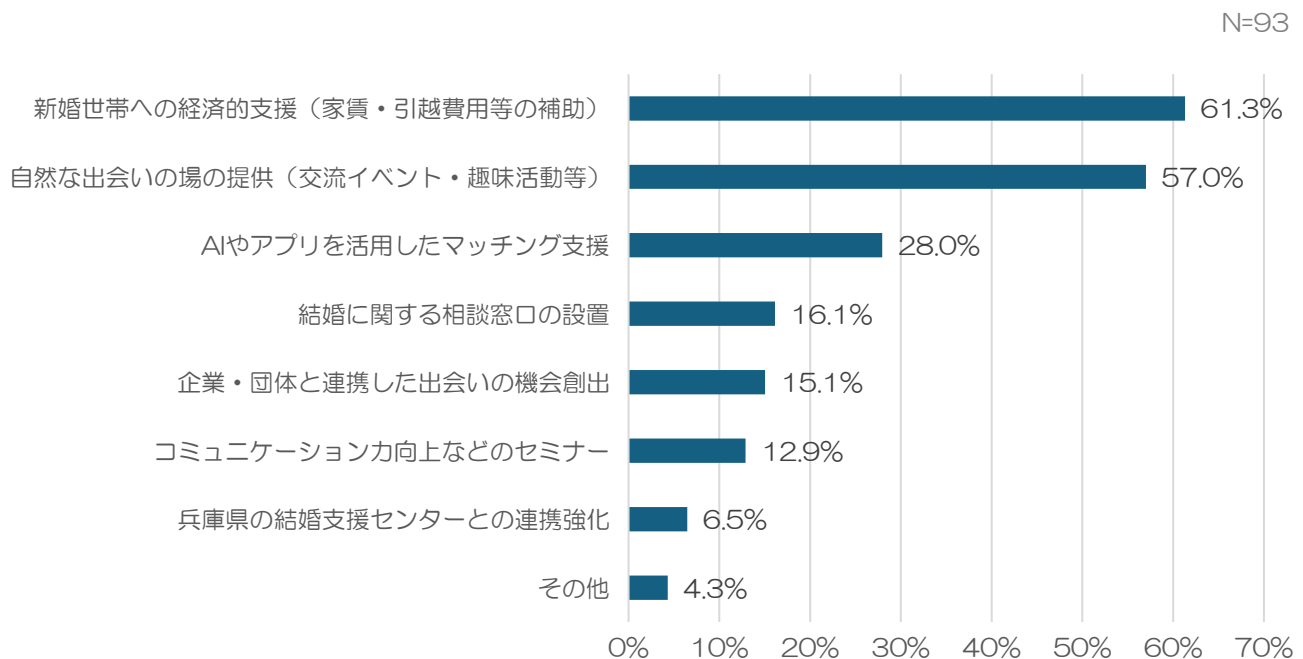
N=93



問 11 結婚をしようと考えている人が障壁と感ずることは何と考えますか。
(3 つまで) (MA)



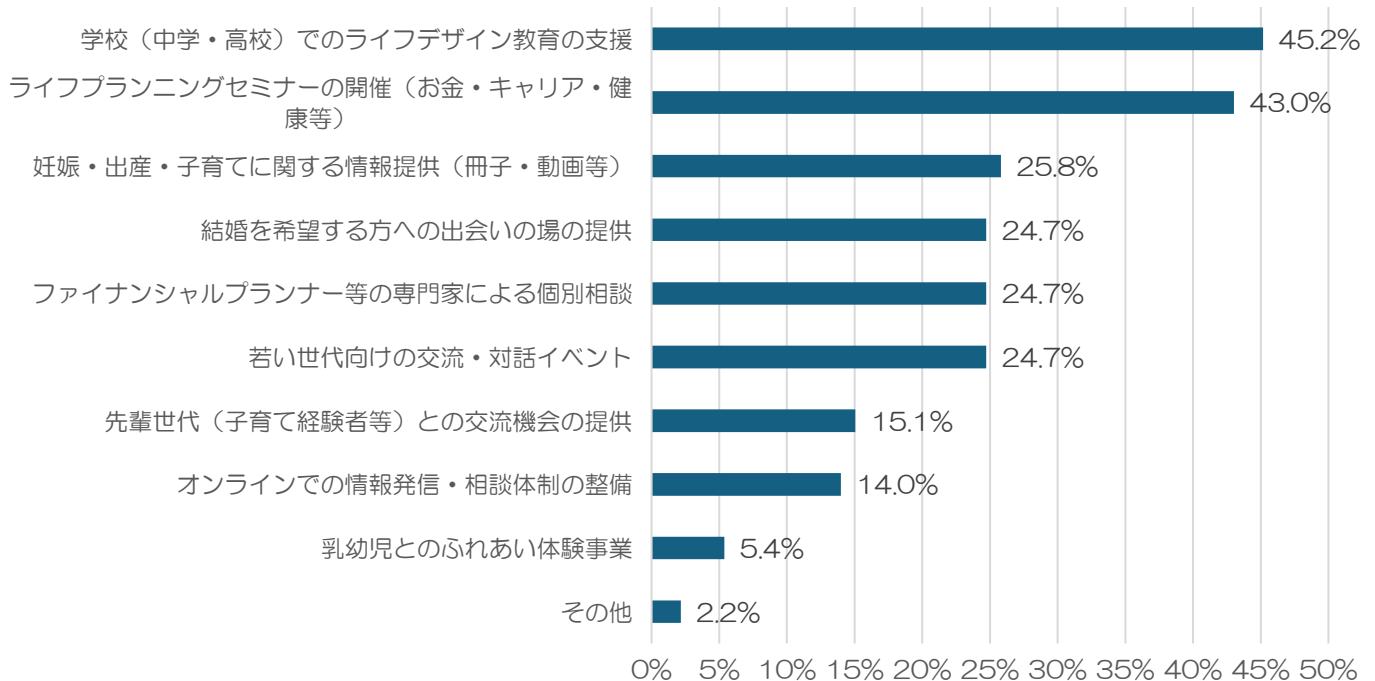
問 12 結婚を希望する方への支援として、どのような取組が効果的だと思いますか。
(3 つまで) (MA)



年代	その他
30 代	結婚に対してのプラスのイメージ
30 代	結婚や出産すると特をするイメージをつける施策
30 代	身体健康向上
60 代	結婚とは何かを意識させること

問13 ライフデザイン支援として、どのような取組が効果的だと思いますか。
(3つまで) (MA)

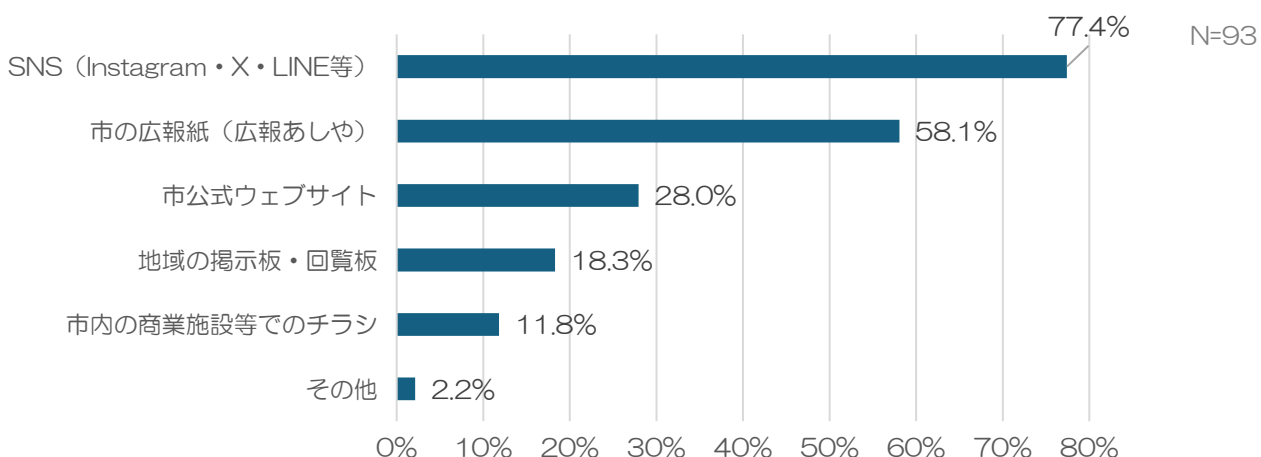
N=93



年代	その他
20代	収入向上のための活動支援。先立つものがなければ家族を持つとは考えられない。（家族を得るための活動資金が足りない場合もある。）
40代	趣味活動（習い事）への補助金。

問14 ライフデザインに関する情報やイベントの案内は、どの方法が届きやすいですか。(MA)

N=93



年代	その他
30代	対話できる機会
40代	電車やバスの広告提示

問15 芦屋市のライフデザイン支援（結婚支援を含む）について、ご意見・ご要望がありましたら自由にお書きください。

年代	その他
30代	様々な世帯が交流できる機会があれば、結婚について話したり聞いたりでき、現実的な未来に繋がると思う。
30代	ライフデザイン支援は、とても大切な取組だと思います。しかし、現在の広報紙だけでは、特に結婚や子育てをしていない方には「自分には関係ない」と感じられ、十分に見てもらえていないように感じます。 現在は「自分にどんなメリットがあるか」が行動のきっかけになる方も多いため、広報紙だけでなく、SNSを活用した情報発信や、気軽に参加できるイベントなどを通して、多くの方に興味を持ってもらう工夫が必要ではないでしょうか。 また、ライフデザインというテーマだけでは参加のハードルが高いと感じるため、お金の知識や資産形成、働き方、健康など、多くの方が関心を持ちやすい内容を入口にしたイベントを開催し、その中でライフデザインについて考える機会を設けると、より参加しやすくなると思います。 さらに、ライフデザインを考えるきっかけづくりには、情報発信だけでなく、実際に行動したくなるような支援も重要だと感じます。結婚や子育てを希望する方に対し、「結婚したらこんな支援がある」「子どもを育てるとこんなサポートが受けられる」といった金銭的・制度的な支援を充実させることで、将来設計をより前向きに考える後押しになるのではないのでしょうか。 人生にはさまざまな選択肢があります。だからこそ、多様な価値観を尊重しながら、「自分らしい人生を考え、安心して選択できる」と感じられるライフデザイン支援を期待しています。
30代	就労に伴う子どもの預かり支援が他市より少なく、預け先が少なく、あったとしても費用もかかるため、支援があれば子育て世代にとっては助かるかと思っています。
30代	ライフデザインについて具体的に考えたり、学んだりする機会が圧倒的に少ないので、段階を経て（それこそ義務教育でも良いので）ライフデザインについて知る、学ぶ、考える機会を増やすことが大切だと思う。
40代	今の子どもたちをみていると、学校のキャリア教育として、多方面で活躍する先輩の話聞く機会がある一方で、結婚や育児についてはあまりイメージできるロールモデルが身近にいないことが多いように感じます。 メディアでは結婚生活や育児の幸せな部分は発信しづらく、大変さがクローズアップされ、若い世代がネガティブなイメージを持ちやすいのではないのでしょうか。 周囲のお年寄りが元気で生き生きしていれば、現役世代が将来の不安に押しつぶされることもないし、現役世代が自分の人生を謳歌していれば、子どもたちも将来に希望を持てるのではないかと思います。 特に健康とお金については、ライフデザインの土台になると思うので、健康相談やお金の相談を気軽にできる方法があればいいのかなと思います。（ネットやAIの活用も含め）
40代	できれば、あらゆる世代（子どもから若者、年寄りまで）それぞれのターニングポイントで支援があれば、良いと思う。世代毎にキャッチアップしやすい方法でアプローチすることが効果的だと考えます。子どもは学校から、若者はSNS、年寄りはペーパー配布等。
40代	芦屋市が行なっているのかいないのかわからない。もし行なっているならもっと情報発信しないと市民に伝わらない。
40代	結婚、出産に対するお祝い金、応援金など、経済的な支援（結婚3年目、5年目など）
50代	経済面、生活子育てへの不安を100%じゃなくても支援、援助できる制度が多くあればと思います。
50代	ライフデザインはそれぞれ違うので、何をサポートできればいいのかが大きな課題だと思う。ただそういった考え方を持つことを目的に、高校生くらいを対象にイベントなどで周知するのが良いかと思う。

年代	その他
50代	50代以降で芦屋での暮らしに慣れている者同士の婚活支援をお願いできると嬉しいです。キャリアの後半に入り、生活様式はある程度心地よい形ができていますが、離婚や死別で、まだ今後の生活のパートナーが欲しい人同士が市内で出会えると、大体お互いの背景や相性が理解しやすく、故に決断しやすく、2人が納税し、芦屋市の生活を積極的に楽しめば、地域の活性化にもなると思います。
50代	結婚観の変化を感じます。根本的に何故結婚するのかに不透明性を感じる方が多いのではないのでしょうか。
50代	人口減少を食い止めるためにも結婚に向けた支援や機会の提供、家族の素晴らしさなどをPR出来る場が必要か。(押し付けがましくなく) また、将来も芦屋に住みたいと思う魅力的な都市環境づくり、医療機関の充実、税制優遇など人口減少に対する取組は必要かと。
50代	自然豊かで、住みやすい町だと思います。ただ、市役所に出かけなくてもオンラインで税、法律などの相談ができたり、ネットスーパーの地域版のようなサービスなどあれば、さらに住み良くなる気がします。 あらゆる世代に共通して、あれば良いな、と思うサービスが充実していれば、自然に住みたくなる町になります。
50代	現状での不安ばかりが大きくなり、一步を踏み出せない人も多いようにも感じるので、ロールモデルになる人と出会える機会が増えたり、支援もあると安心でき、いいなと思います。
60代	イベントの企画、開催(アウトドア、バーベキュー、スポーツ、ビーチクリーン、ハイキング、名所ガイドツアー)、講演会の開催やその後の親睦会、懇親会、異業種交流会等々。
60代	出会いの場が多くできるように、芦屋にも映画館とかゆっくり過ごせる公園(できれば室内)などの商業施設があればいいなと思います。
60代	民間の先進企業の取組をベンチマークすべきだと思います。
60代	結婚したいけど、一步踏み出せない人が多いような気がする。アプリでは怖いと言っていた。行政の相談窓口もあるのにね。広報にこんな出会いがあるとか特集して欲しい。
60代	子育て支援も含めて結婚後の生活がしやすいように、補助、支援が必要だと思います。